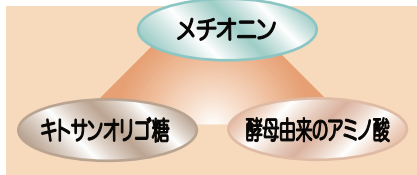


植物の元気を引き出す ファイトシリーズ

通常10aに
100~150g
灌水処理 **450g入り**

根の活力を高める成分



- 移植後の揃いを良くする
- 降雨後・乾燥時の根傷み防止に
- 葉や茎のよじれ防止に
- 連作障害などの生理障害防止に



根に刺激! ファイト・メット



天然の成分配合
メチオニン+酵母エキス
キトサンオリゴ糖
ストレスから根を守る

灌水チューブで簡単施用

毛細根を増やし、 活力アップ!!

7~14日間隔で数回の施用が効果的
根や新芽はもっともっと
変えられます!

- 【育苗期】
 - 毛細根の充実
- 【定植時】
 - 活着不良対策に
- 【追肥時】
 - リン酸・ミネラル分の吸収力アップに
- 【植物全般】
 - 成り疲れ防止に
 - しおれ防止に
 - 開花結実促進

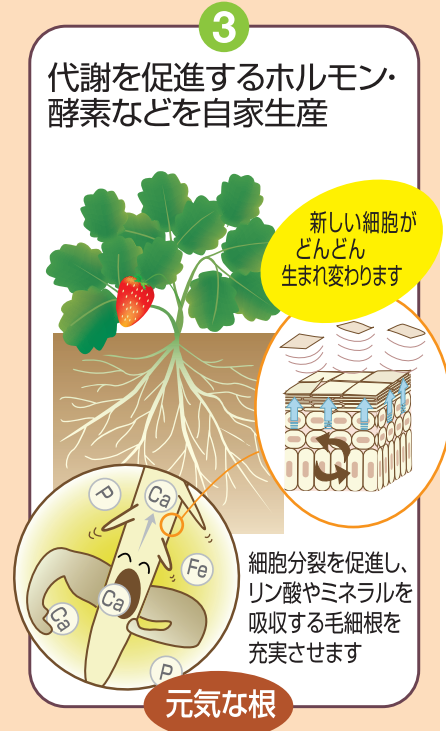
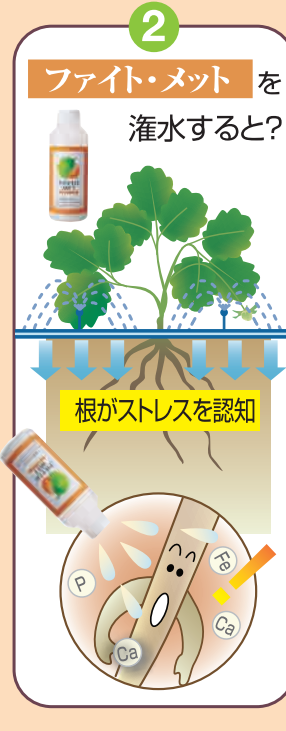
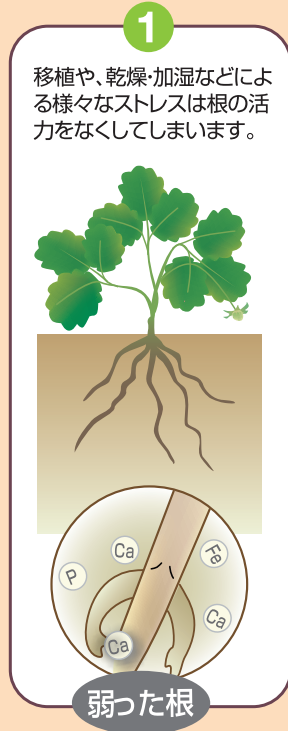
根傷み・樹勢低下対策に

代謝を活発にし 新しい根を増やします

良い花・実を作るためには
“**活きた根先**”をたくさん
確保することが大切です

ストレスからくる成り疲れや活着不良。細かな根が死んでしまい、いわゆる“ゴボウ根”ばかりになってしまうのが原因です。

傷んだ根では、チッ素ばかりが効いてしまい、樹がバランスを崩しがち。活きた根の先を多くすることで、新芽や花を作るためのホルモンの生成を促すとともに、リン酸や微量ミネラルをきちんと吸わせてやるのが肝心です。



ファイト・メット

PHYTO MET



【肥料登録品】

肥料の種類 家庭園芸用複合肥料
登録番号：生第84050号



肥料登録取得 **安心**

●栽培ごよみには、肥料として記載できます。

内容成分開示 **安全**

- 肥料としての有効成分
窒素全量2.0%
(メチオニン由来)
水溶性加里0.1%
- その他の成分
天然酵母エキス
キトサンオリゴ糖
土壌浸透剤

適用作物

- 作物全般
特に果菜類、花卉類
施設作物全般

作用

- 灌水で処理すると、有効成分が根に直接働きかけ、植物ホルモンや抵抗力誘導物質の発生を促します。根圏の有効微生物の保護にも効果的です。

使用法

- 【チューブ灌水】
10aあたり100~150gを
水で溶かして灌水処理
(液肥混入の要領で使用)
- 【株元灌水】
2000~3000倍に希釈し、
育苗時、定植以降に灌水処理。

効果的な使い方

- 晴れた日の朝に施用
- 10~14日おきの定期施用

混用

- 液肥との混用は可能です。

PHYTO SERIES
ファイト・シリーズ

植物に活力を与えたいとき
ファイトシリーズがおすすめです!



PHYTO CAL
ファイト・カル

カルシウム吸収!
生第83188号 散布タイプ



PHYTO O2
ファイト・オーツーツー

生き生き生育!
生第83241号 散布タイプ



Ele-Max
エレマックス 0-28-26

開花・結実を充実!
輸第9423号 散布タイプ



Ele-Max
エレマックス 4-30-20

樹勢バランス良く!
輸第9424号 散布タイプ

ファイト・メット の使用法

	作物	目的	使用量 (10aあたり)	使用濃度 (倍)	施用時期	効果的な 使用回数 (回)
育苗	イチゴ	親株の充実、ランナーの発生促進	100株当たり 8g(メット4g)	2000	親株定植後株元灌水10-14日おき	2
		活着改善(仮植床育苗)	100坪当たり 150g(メット50g)	3000	仮植床に散布灌水10-14日おき	1-2
		活着改善(ポット育苗)	1ポット当たり 30-50cc	3000	鉢上げ時に株元灌水10-14日おき	1-2
定植	全般	活着改善	1株当たり 30-50cc	2000-3000	定植直前または直後(株元灌水)	1
本園	トマト	樹勢低下、成り疲れ対策	100-150g	(2000-5000)	10-14日おき灌水	2-4
	イチゴ	活着改善、毛細根の充実	150g	//	マルチ後液肥混入の要領で10-14日おき	3-4
	キュウリ	成り疲れ防止、しおれ防止	150g	//	主枝ピンチ以降灌水処理10-14日おき	2-3
	ナス・ピーマン	毛細根の充実、しおれ防止(高温期におすすめ)	100-150g	//	高温時の灌水に液肥混入の要領で	2-3
	メロン・スイカ	着果改善、毛細根の充実、しおれ防止	150g	//	交配前1回、交配後10日おき2回	3
	キク	定植時：活着改善、初期生育の揃い	150g	//	液肥混入の要領で灌水10-14日おき	2
		消灯：葉花(蕾)の肥大促進	300g	//	消灯7日後から2回灌水7-10日おき	2
	カーネーション	活着改善、しおれ防止	150g	//	定植後、7-10日おき*注意 開花後は使用不可	2-3
	トルコギキョウ	活着改善、しおれ防止	150g	//	定植後1回、収穫期に7-10日おき2回	2-3
	ユリ	毛細根の充実、初期生育揃い	150g	//	本葉展開後草丈5-20cm頃まで灌水処理	2
		花のボリューム感アップ、日持ち向上	150g	//	出蕾初期から10日おき	2
	大葉	活着改善、しおれ防止	150g	//	定植後、草丈25cm頃まで10日おき	2-3
	ニラ	樹勢の回復、しおれ防止、毛細根の充実	150g	//	しおれ等発生時 10-14日おき	1-2
	豆類	毛細根の充実、根傷み防止	150g	//	生育中 後期にかけて10日おき(灌水設備のある場合)	2-3
	お茶	定植後の毛細根の充実、樹勢回復	150g	(4000)	定植後500-600ℓの水に溶かして灌水処理	2
秋肥え・春肥え後の樹勢回復、萌芽の充実		300g	(2000)	肥料散布後500-600ℓの水に溶かして灌水処理	1	
上記の効果を高めるために		150g	(4000)	その10日後500-600ℓの水に溶かして灌水処理	1	
ミカン	毛細根の充実、花芽保護(発芽準備期)	株あたり2000倍を50-100ℓ		深耕後樹勢の弱い株に灌注	1	
	根傷み防止、微量要素吸収力アップ	150g	(2000-5000)	果実肥大期に乾燥が続く時はお勧め	1-2	

※施用濃度が()書きの場合、10a当たりの使用量を基準として下さい。(倍率は目安です)

※上記以外の作物についても使用できます。水耕栽培での使用法やその他の効果的な使い方については下記までお問い合わせ下さい。

